

科目名称：	保育実習指導D	
担当者名：	中村明成	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
保育士資格を取得するために、本学では「保育実習Ⅰ」（保育所・児童福祉施設）「保育実習Ⅱ」（保育所）「保育実習Ⅲ」（児童福祉施設）を実施している。「保育実習Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」は選択のため、ここでの「保育実習Ⅲ」では、実習対象として、「児童厚生施設又は児童発達支援センターその他社会福祉関係諸法令の規定に基づき設置されている施設であって保育実習を行う施設として適当と認められるもの（保育所及び幼保連携型認定こども園ならびに小規模保育A・B型および事業所内保育事業は除く）」を対象とする。		
授業の達成目標・到達目標		
「保育実習Ⅰ」に位置づけられた「施設実習」での学びをふりかえりながら、実習を、通して「保育者の役割」や「利用者のとのかかわり」をより深められるためには、どのような実践が考えられるか理解すること。また、保育士の社会的な位置づけとして、より幅広い範囲で活躍の場があることも理解していきたい。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			100		100
					0

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 障害者支援施設支援員 社会福祉士ケアマネージャー	《経験年数1》 11年10か月
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業内レポート	授業の内容をよく理解し、施設の種別ごとの違い、共通することをよく理解できている	授業の内容を理解し、施設の種別が整理され、実習について考えている	授業の内容を理解し、実習について考えている	授業の内容を理解できていない
実習に向けての事前課題	自ら課題に取り組み、実習の現場でも活かすことができる	課題に積極的に取り組み、実習現場でも実践できる。	課題に積極的に取り組むことができる。	実習の課題に取り組むことができない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 「保育士資格」取得のために、何が必要なのかを理解する。	「保育実習Ⅰ」の内容の再確認	40分
第2回 「保育実習Ⅰ」（福祉施設）の実習のふりかえり	実習記録を読み返す	30分
第3回 「保育実習Ⅰ」（福祉施設）の実習のふりかえり	実習記録を読み返す	30分
第4回 「保育実習Ⅰ」（福祉施設）の実習のふりかえり	実習記録を読み返す	30分
第5回 「保育実習Ⅰ」（福祉施設）の実習のふりかえり	実習記録を読み返す	30分
第6回 保育実習Ⅰで起こったことをまとめ、発表する	記録をまとめ直してレポート作成	30分
第7回 保育実習Ⅰで起こったことをまとめ、発表する	記録をまとめ直してレポート作成	30分
第8回 保育実習Ⅰで起こったことをまとめ、発表する	各自の発表をまとめる	30分
第9回 保育実習Ⅰで起こったことをまとめ、発表する	各自の発表をまとめる	30分
第10回 実習先の施設の種別を理解する	レポートにまとめる	30分
第11回 実習先の施設の種別を理解する	レポートにまとめる	30分
第12回 実習施設の具体的な支援内容を理解する	HPなどでの情報を収集する	30分
第13回 実習施設の具体的な支援内容を理解する	HPなどでの情報を収集する	30分
第14回 実習施設の具体的な支援内容を理解する	HPなどでの情報を収集する	30分
第15回 オリエンテーション（事前訪問）に向けて理解を深める	質問事項などの確認	30分
第16回 オリエンテーション（事前訪問）に向けて理解を深める	質問事項などの確認	30分
第17回 オリエンテーション後の課題を理解する	オリエンテーションの内容をまとめる	30分
第18回 オリエンテーション後の課題を理解する	オリエンテーションの内容をまとめる	30分
第19回 実習記録の書き方	保育実習Ⅰでの記録を振り返る	30分
第20回 実習記録の書き方	保育実習Ⅰでの記録を振り返る	30分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 実習計画書を理解する	「実習の手引き」を参考にして記入する	30分
第22回 実習計画書の作成	「実習の手引き」を参考にして記入する	30分
第23回 実習計画書の作成	「実習の手引き」を参考にして記入する	30分
第24回 実習報告会参加	実習報告会のレポート作成	30分
第25回 実習報告会参加	実習報告会のレポート作成	30分
第26回 実習のふりかえりを行う（個別のプレゼンテーション）	実習記録の見直し	30分
第27回 実習のふりかえりを行う（個別のプレゼンテーション）	実習記録の見直し	30分
第28回 実習後のまとめレポート作成	レポートを見直す	30分
第29回 実習後のまとめレポート作成	レポートを見直す	30分
第30回 「保育士」として従事するためのまとめ	自分の考えをまとめておく	30分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>「保育実習Ⅰ」（福祉施設）の実習のふりかえりレポートや、オリエンテーション（事前訪問）のレポートなどの内容及び提出状況や、実習記録の実習目標などの記入の内容を確認し、評価する。（100％）</p>		
課題に対するフィードバック		
各種レポート及び実習記録を確認し、返却する。		
教科書・参考書		
「実習の手引き（施設実習編）」金城大学短期大学部幼児教育学科 「施設実習ガイド」ミネルヴァ書房 2018		
備考		